

★東大阪生協病院での「半日ドック」のお手伝い。病院内での患者や利用者さんの誘導・案内、診察室への車いす補助。★病院4階屋上庭園のお手入れ、患者さんとのお話し相手、買い物の代行。通所リハでの利用者さんのお世話とお手伝い。★月1回「けんこう」新聞の配布（ご近所10～15軒程度）をお手伝いいただけ

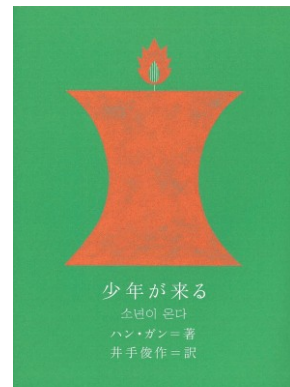
ボランティアさん募集中！

る方を募集中です。★お手伝いは、30分～1時間の短時間のボランティアからでも結構です。★「引き受けてもいいよ！」と思われる方はご連絡ください。ご協力いただける内容やお時間はご相談させていただきます。★お問い合わせは ☎06-6726-6351 まで。

かわち野たすけあいの会

★「たすけあいの会」とは「ちょっとした手助けがあれば、自立して生活することができるのに・・・」こんな組合員の願いを、お互いの助け合いでかなえようという活動です。★「庭の水やり」「植木の剪定」「草ひき」「掃除」「買い物代行」「話し相手」「パソコンの設定」・・・など。★「こんなこと頼めるかなあ？」と思案中の方は、一度お電話ください。★この活動は有償です（1単位・30分 300円）。内容によってはお応えできない場合があります。

★お問い合せ・申し込みは、『かわち野たすけあいの会』事務局 ☎06-6726-6351 まで。



今月の 読書

『少年がくる』
ハン・ガン著 / 井手俊
作訳 / クオン / 275ペ
ージ / 2500円＋税

1980年5月、戒厳令下の韓国で民主化を求める多くの市民や学生が軍によって武力弾圧された光州事件をテーマにした小説です。著者は昨年、韓国人として、またアジアの女性として、初めてノーベル文学賞を受賞しました。

光州事件は同年5月18日から27日までの10日間、軍事独裁政権に抗議する光州市民を戒厳軍が無差別に殺傷した事件。この町で生まれて9歳まで過ごし、事件の数カ月前にソウルに移った著者が、三十数年の時を経て鎮魂に満ちた筆致で書き上げました。

丹念な調査と取材をもとに描かれたのは、戒厳軍による銃撃や刺殺、殴打、拷問のもとで人々がどのように生を奪われたのか、生き残った者はその後どのように生きてきたのか…。昨年末、突然の「非常戒厳」と軍の出動があった韓国。その記憶が生々しい今こそ、読みたい作品です。

映 画 上 映

スオミの話をしよう

日 時： 5 月 7 日（水） ①10:00 ②14:00 （2回上映）

著名な詩人の妻スオミが行方不明となり、詩人の豪邸に刑事がやってくる。彼はすぐに正式な捜査を開始すべきだと主張するが、詩人は「大ごとにするな」と言って聞かない。やがてスオミの元夫たちが続々と屋敷に集まり、「誰が一番スオミを愛していたのか」「誰が一番スオミに愛されていたのか」とスオミの安否そっちのけで熱く語り合う。すると、彼らの思い出の中のスオミは、見た目も性格も、まるで別人であることが明らかになっていく。

<2024年製作 114分 鑑賞無料>



映画・教室の参加者のみなさんへ。

※案内のポスターを掲示しています

自転車はハムコソ神社となりの駐輪場にとめてください。



●足の筋力維持向上 ●認知症の進行
防止 ●転倒の予防 ●生活習慣病予防

スクエアステップ[®] 班会

4 月 毎週金曜日 10:00～（参加無料）

筋力アップ。体にメリハリを持たせ美しいスタイルに！



パワーヨガ(yoga)教室

4月1日・15日（火）10:00～
月謝:1,000円（1回600円）

「健康3ガ教室」4月9日・23日（水）10:00～

初めての方も大歓迎。随時体験レッスン受付中！

社交ダンス教室

4月11・18・25日（金）14:00～
月謝：2,000円（1回700円）



呼吸に合わせてゆっくりポーズをとっていきます！



ハタヨーガ(yoga)教室

4月12日・26日（土）10:00～
月謝:1,000円（1回600円）

楽しく体と頭とお口を動かしませんか！

お達者クラブ[®]（無料）

4月19日（土）10:00～11:30
<お問い合わせ> 介護事業部 ☎06-6726-2662



音楽にあわせてダンスを楽しむエクササイズです！

ズンバ・ゴールド教室

4月14日・28日（月）14:30～
月謝:1,000円（1回600円）



フラワーアレンジメント教室

4月22日（火）10:00～11:30
4月26日（土）14:30～16:00

今回は『春風アレンジ』。持ち物：グリーン
の器、あれば今まで使ったリボンやパー
ールなどのピック、ゴールドワイヤー。花材
費:2,000円（初回プラス2000円）



申し込み締切り月4月15日（火）※写真はイメージ

Q&A

高額療養費
制度 (94)



「命綱守れ」の声、政府を動かす

Q 高額療養費制度が見直されるんだって？

A 高度な医療を必要とする人の治療と生活を支えるため、医療費の自己負担限度額を定めている制度。限度額を超える分は医療保険が補てんする仕組みだ。政府は自己負担上限額を今年8月から2027年8月まで段階的に引き上げる計画を決めた。例えば年収650万円の人ならば8万円程度なのを、27年には13万8600円程度に引き上げるといった内容だった。こんな見直しが行われれば「命綱」が絶たれるという、がん患者団体などの抗議を受け、2月には長期治療者の負担増を一部据え置きとした。

Q なぜ引き上げる？

A 現役世代の保険料負担を抑制するのだという。全国保険医団体連合会が実施した、子どもを持つがん患者へのアンケートでは、制度見直しが行われれば、4割が「治療中断」、6割が治療回数を減らすと回答していた。石破茂首相は「制度を守るため」というが、今病気で苦しむ人々を切り捨てて何を守るのか。理解に苦しむ。保険財政の問題について、保団連は、高額療養費は医療費全体の約6・3％に過ぎず、保険財政を逼迫（ひっばく）させるというのは不正確だと批判する。また、医療費の伸びの多くは高価な薬剤費だとして、高く算定する仕組みの見直しを求めているよ。

Q 今後どうなる？

A 2025年度予算案が与党と維新の賛成で衆院を通過し、政府は強気の姿勢を示していたが、世論の強い批判を受け、3月7日、今年8月からの上限額引き上げを見送る方針を固めた。秋までに制度のあり方を再検討するという。7月の参院選の争点にし、撤回に追い込みたいね。

ご連絡
ください

- このページ（紙面）でご紹介する教室や催しの会場は、東大阪生協病院の4階「組合員ホール」です。
- 参加のお申し込み、詳しい内容についてのお問い合わせは、☎06-6726-6351 までご連絡ください。
- お預かりした個人情報については、班会や教室、催しに関する連絡のみに使用させていただきます。